

61年度の財政状況

62年度 一般会計

活力あるまちづくりに510億円

「富士市の財政」を公表しています。今回は、昭和六十二年予算と昭和六十一年度の財政状況をお知らせします。

私たちが納めた税金はどのように使われているのでしょうか。市は、市の財政事情を市民の皆さんに知っていただくため、毎年六月と十二月の二回「富士市の財政」を公表しています。

一般会計は一・四%の伸び

昭和六十二年予算は、一般会計が五百十億円、企業会計を含む特別会計が三百十億二千八百五十万円で、総額八百二十億二千八百五十万円です。

六十一年度当初予算と比較すると、一般会計は七億円増の一・四%の伸び、企業会計を含む特別会計は二億六百三十七万八千円増で六・九%の伸びとなりました。

歳入は、自主財源の根幹をなす市税収入が、円高による景気の停滞により法人関係の税などで伸び悩み、前年度対比四・〇%、金額にして十一億九千七百八十三万円の増加にとどまりました。

国・県支出金などの依存財源については、引き続き国庫補助負担率の再引き下げによる影響など予想以上の財源難となりました。

歳出は、歳入の増加をほとんど見込むことのできない状況ながらも、「富士山をシンボルにみどりあふれる文化と産業のまち」の実現を目指し、限られた財源の重点的、効率的配分に努めました。

昭和六十三年三月開業に向けて

の新幹線新駅設置事業を始め、下水道事業の推進、道路、河川、公園の整備、義務教育施設及び社会福祉施設、保健医療施設の整備、福祉の充実、産業経済の振興など諸施策を積極的に予算化しました。

昭和62年度一般会計 （一般会計とは市税収入を主な財源として、福祉・教育・道路・消防などに使われる会計です。）

歳入		
会計年度内(4/1～翌年3/31)に入ってくるお金		
科目別	金額	構成比
総額	510億円	100%
市税	308億7,430万円	60.5%
市債	44億1,190万円	8.7%
繰入金	36億3,545万6,000円	7.1%
諸収入	29億 827万7,000円	5.7%
国庫支出金	28億4,844万8,000円	5.6%
分担金及び負担金	15億7,296万4,000円	3.1%
県支出金	13億 109万9,000円	2.6%
繰越金	8億 500万円	1.6%
その他	26億4,255万6,000円	5.1%

Q 富士市の財政は県内の主要都市と比較するとどんなですか？



大村千穂さん (宮島・28歳)

富士市を100として県下5市の財政規模(一般会計)を比較すると下の表のようになります。

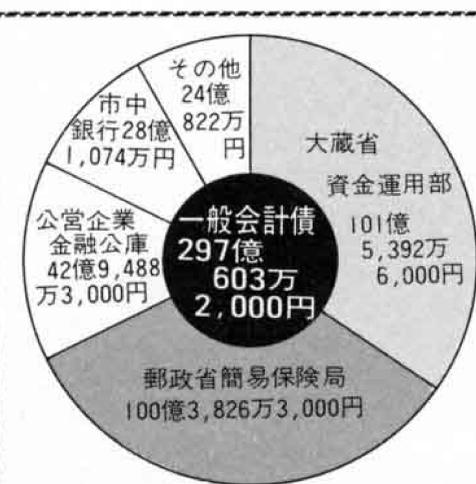
区分	人口	歳入決算額	人口1人当たりの歳出
富士市	100.0	100.0	100.0
静岡市	215.1	185.6	85.7
浜松市	236.8	187.1	79.3
清水市	111.7	86.4	77.5
沼津市	97.5	74.9	75.6

※人口は61年3月31日現在、そのほかは60年度の数字です

市債の状況

市の借金を市債といいますが、道路や学校をつくるには、巨額な費用が必要となり、市税や補助金だけでは賸えません。そこで国や銀行からお金を借ります。

・一般会計 二百九十七億六千三万二千元
 ・特別会計 百六十八億七千四百七十九万五千元
 (三月三十一日現在)





昭和62年度予算と

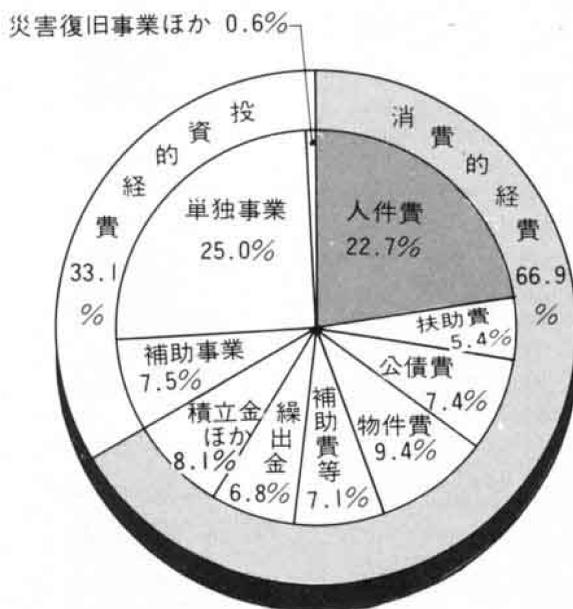
緑豊かな

会計別予算

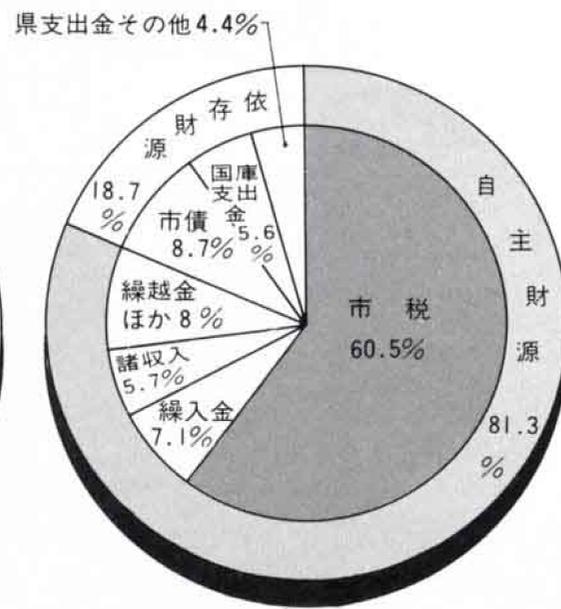
総額 820億2,850万円

水道事業	31億5,512万6,000円
病院事業	80億9,036万3,000円
特別会計	197億8,301万1,000円
一般会計	510億円

性質別歳出



財源別歳入



1人当りに使うお金は

23万3,148円

1人当たりの市税負担額は

14万1,143円



市有財産の状況

有価証券 1,590万円	
土地 4,923万6,923 平方メートル	
建物 55万6,965 平方メートル	
立木 23万4,721 立方メートル	
車両 264台	

基金の現在高 51億5,151万3,814円

(昭和62年3月31日現在)

歳出

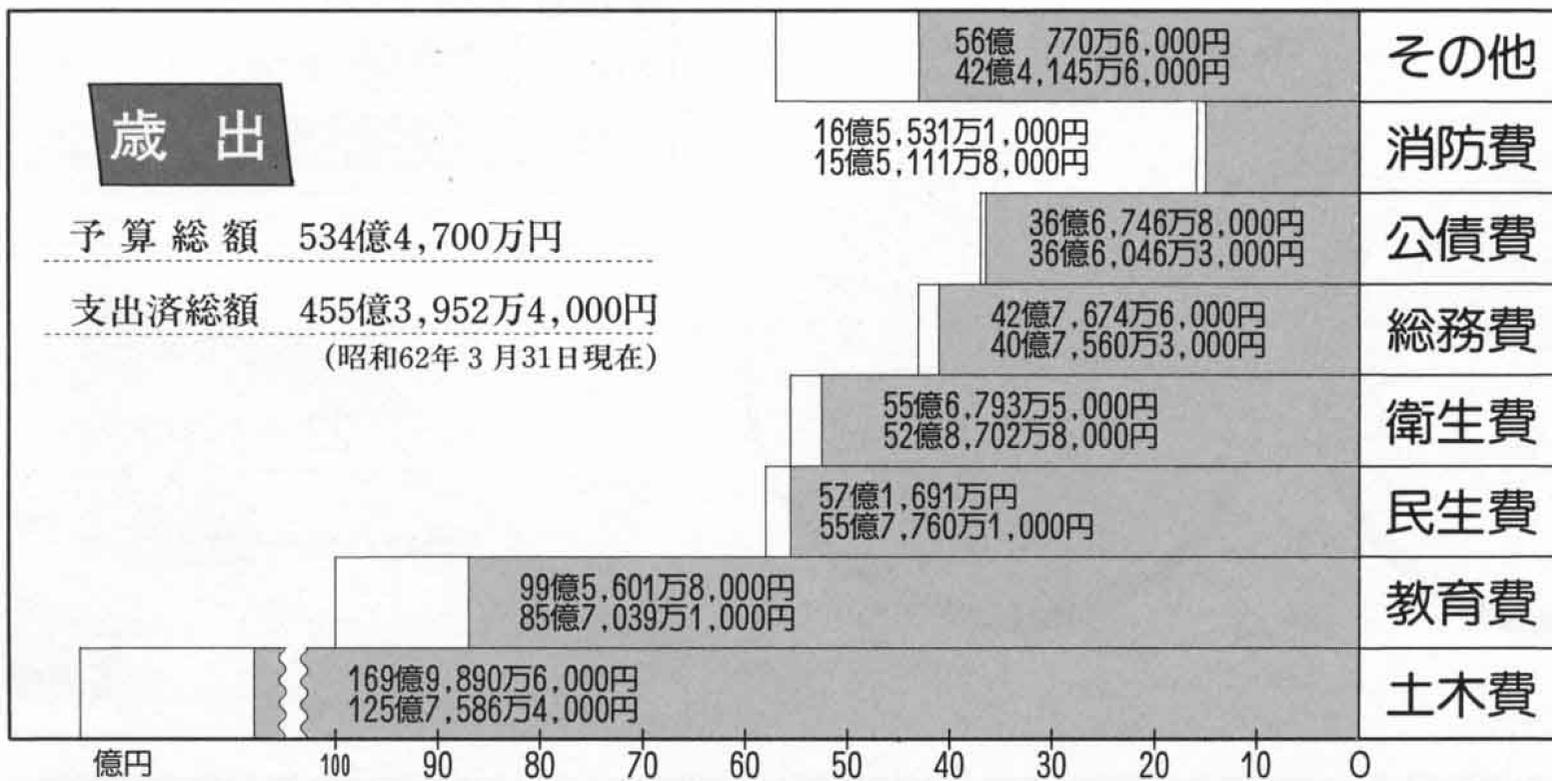
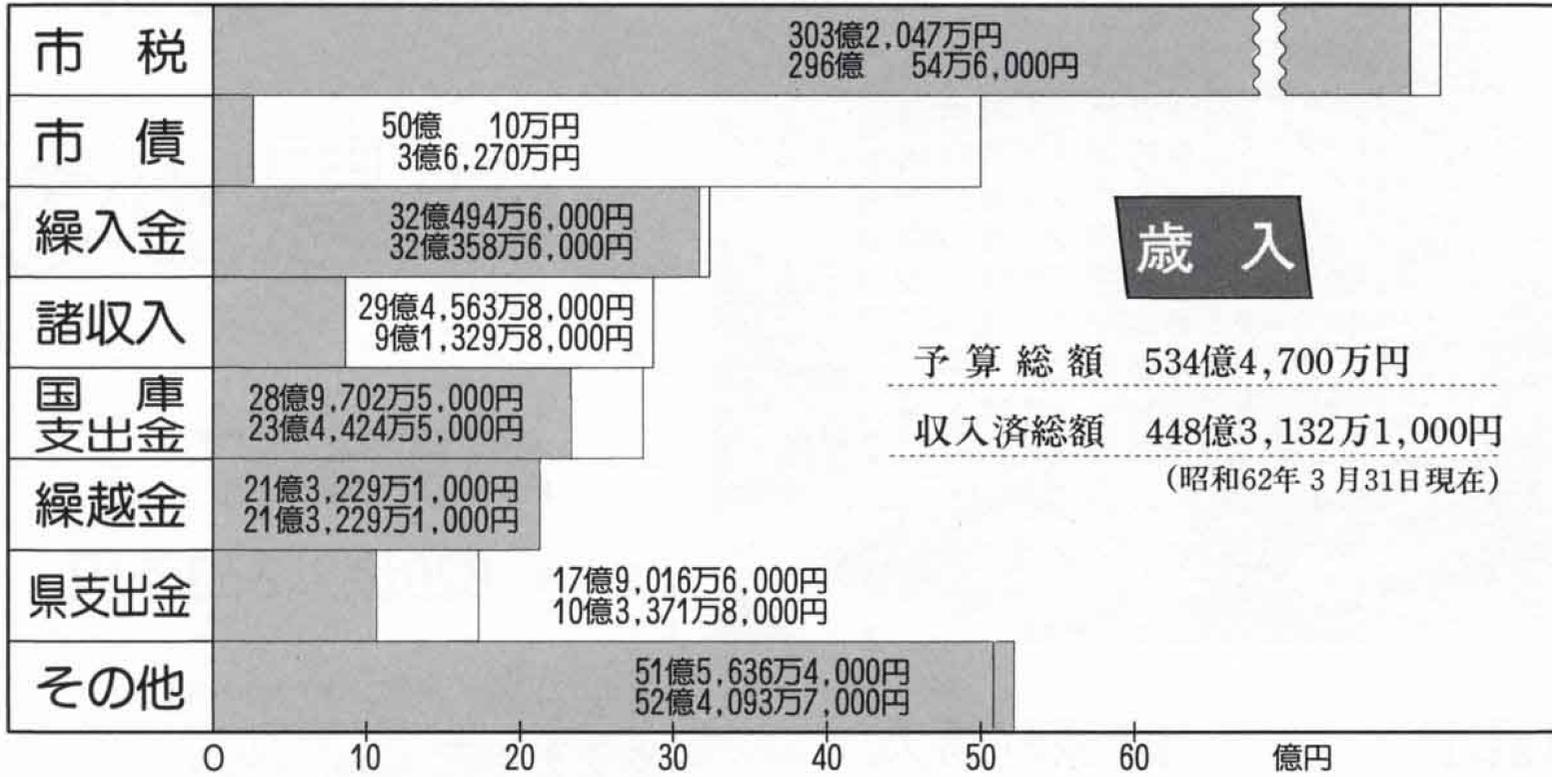
会計年度内(4/1~翌年3/31)に支出するお金

科目別	金額	使い道
総額	510億円	
土木費	157億7,757万6,000円	道路や河川の整備に
教育費	85億1,292万4,000円	学校整備や社会教育など
民生費	66億4,920万7,000円	社会福祉などに
衛生費	58億 35万7,000円	ごみ処理や病気の予防に
総務費	41億3,969万3,000円	庁舎管理や人件費などに
公債費	37億7,917万円	借りたお金を返すために
消防費	16億8,679万8,000円	消防、水防、防災のために
農林水産業費	15億 295万4,000円	農業や水産業のために
労働費	13億2,700万8,000円	働く人たちのために
商工費	12億6,550万4,000円	商業や工業発展のために
その他	5億5,880万9,000円	議会費、災害復旧費など

1、富士山のように美しく自然を愛しきれいな環境をつくります

昭和61年度 一般会計

(上段：予算額
下段：執行額)



昭和六十一年度予算と執行状況

企業会計の決算状況

企業会計は、民間企業と同様に独立採算を原則とする事業について設けられた会計です。

◇病院事業

収入合計	73億 908万3,000円
医業収益	63億 580万6,000円
医業外収益	10億 327万7,000円
支出合計	71億4,127万6,000円
医業費用	64億3,338万3,000円
医業外費用	7億 789万3,000円
純利益	1億6,780万7,000円

◇水道事業

収入合計	25億2,038万円
営業収益	23億2,659万5,000円
営業外収益	1億9,378万5,000円
支出合計	21億5,345万4,000円
営業費用	17億2,916万9,000円
営業外費用	4億2,428万5,000円
純利益	3億6,692万6,000円

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合、一般会計とは別に経理する会計です。
(財産管理特別会計は省略しました。)

国民健康保険会計		下水道会計	
予算額	67億2,200万円	予算額	59億9,850万円
支出済額	57億4,821万円	支出済額	47億9,950万円
依田原新田区画整理会計		富士中部区画整理会計	
予算額	1億 440万円	予算額	14億3,200万円
支出済額	1億 139万円	支出済額	12億2,511万円
地方卸売市場会計		駐車場会計	
予算額	3億6,600万円	予算額	4,320万円
支出済額	3億5,474万円	支出済額	4,078万円
公共用地先行取得会計		老人保健会計	
予算額	1億1,620万円	予算額	46億7,430万円
支出済額	1億1,609万円	支出済額	43億2,426万円